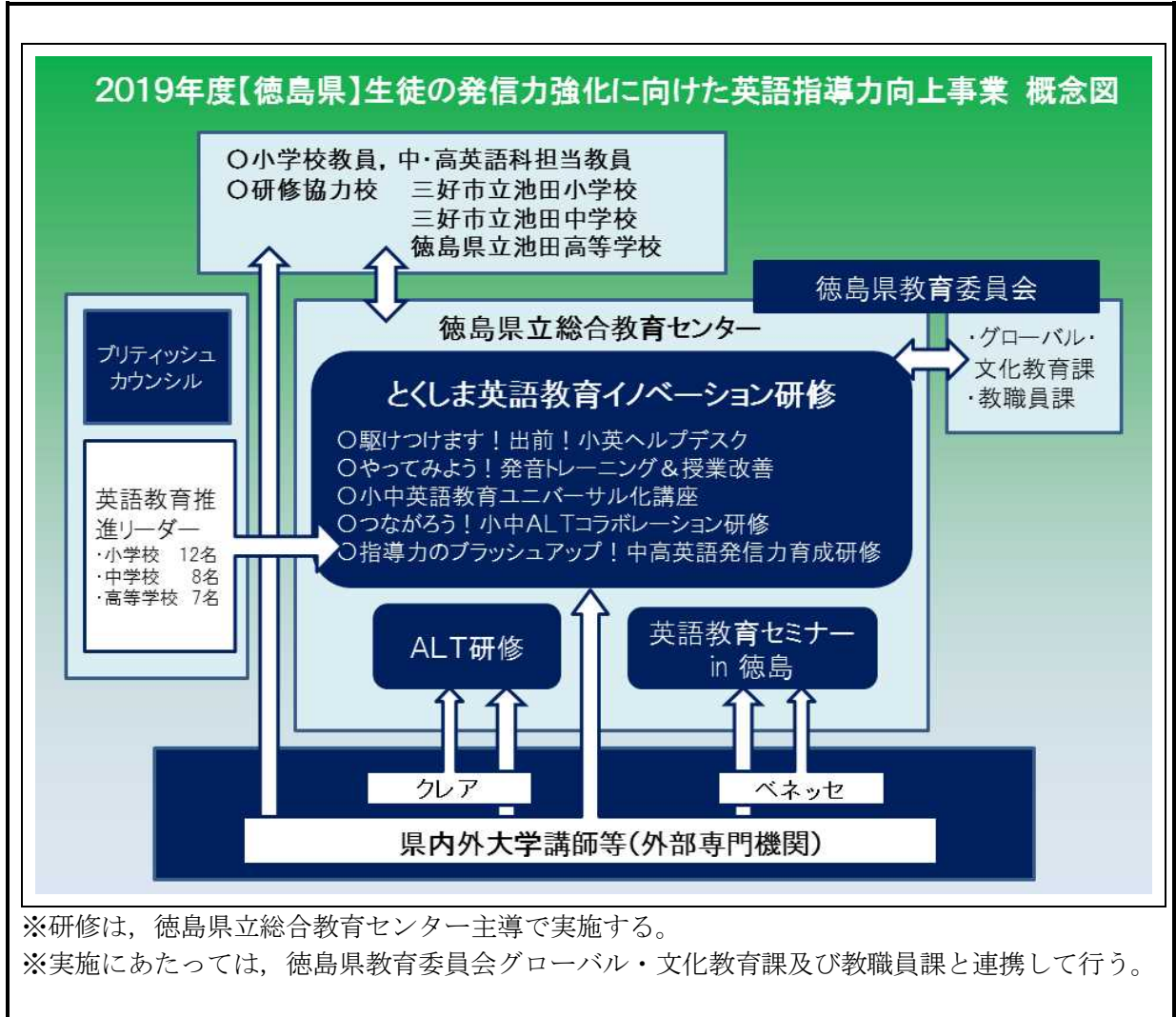


(様式3-2)

# 徳島県英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

徳島県では、昨年度、全国調査である『英語教育実施状況調査』とは別に、県独自の調査である「生徒及び英語担当教員アンケート」も実施した。それらのアンケート結果から次のような課題が挙げられる。

- ・生徒の英語力は全国平均を上回っているが、「話す」「書く」の発信力に課題がある。
- ・教員の指導力・英語力強化のため、教員採用段階で英検準1級相当以上の英語力を資格要件化したため、教員の英語力は全国平均を上回っているが、主体的・対話的で深い学びを実現するために授業改善を図っていく必要がある。

そこで、課題と今後の課題解決のための重点項目を次の3点とする。

- ①生徒の発信力強化のため、教員の英語指導力を向上させるとともに、教員研修の充実に取り組む。
- ②児童生徒が、外国語指導助手（ALT）など外国人との交流により、「生きた英語」に触れながら実際に英語を使用する機会を充実させる。
- ③「CAN-DO リスト」形式での学習到達目標の設定・公表・達成状況の把握（入学から卒業まで、指導のPDCA サイクル構築）を徹底し、教員の指導力向上に資するものとする。

これら3つの施策に重点的に取り組むこととし、2019年3月末に策定した「徳島県英語教育改善プラン」を周知徹底するとともに、課題解決に向けて取り組んでいく。

### 〈小学校における目標管理〉

2018年度は、小学校教員対象の研修を6回実施し、研修受講者数は、1,007人となり、ともに目標値を上回った。この要因としては次の2点が考えられる。

1点目には、2017・2018年度の2年間実施した学校悉皆研修「英語中核教員研修A」の受講者数を、2016年度までの約4倍に増やしたことが挙げられる。新学習指導要領の実施により、小学校外国語教育に携わる教員数が全担任の3分の2を占めるようになることに鑑み、各年、学校規模に応じて各校1～4名の受講者数を割り当て、これまでに外国語活動の研修会に参加していない教員に積極的に受講するよう働きかけた。研修内容については、2018年度からの新学習指導要領の移行期にしておくべきこととし、授業力向上はもちろん、教室英語を中心とした英語力向上を目指したものとし、初めて外国語の研修を受講する教員も安心して参加できる構成となるよう配慮した。

2点目に、勝浦郡小教研主催の小学校教育研究大会外国語活動部会プレ大会が、2018年度の研修協力校を会場に開催され、公開授業・授業研究会・研究発表の形でこれまでの研修成果を県下一円に普及できたことが挙げられる。その他、研修協力校における外部専門機関からの講師や英語教育推進リーダーを招いての公開研修、毎年開催している「英語教育セミナーin徳島」や「授業改善のための土曜セミナー」等の希望研修の実施等が考えられる。

今後も、希望研修や英語教育推進リーダーによる伝達講習の機会を増加する等、研修実施回数及び研修受講者数を増やし、すべての小学校外国語教育に携わる教員の英語指導力向上を図る。

2022年度までの目標管理を次に示す。

	2018		2019		2020		2021		2022	
	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
研修実施回数	10	19	10		10		10		10	
研修受講者数	1000	1007	500		500		500		500	

### 〈中学校における目標管理〉

2018年度は中学校英語科教員を対象とした研修を24回実施した。目標値は、2014年度～2016年度の英語担当教員悉皆研修であった「小中高英語パワーアップ講座」が終了し、2017年度より2カ年実施の「英語中核教員研修A」の受講者を、各郡市からの代表（地域の中核教員）に絞ったことに合わせ、見直しをはかったが、目標値を上回る結果となった。受講者数の増加の要因は、英語教育推進リーダーの伝達により英語指導力向上を目指す「英語中核教員研修A」への参加はもちろん、研修協力校等における郡市規模の研修への校種を超えた参加者も見られたことや、全国学力学習状況調査に向け研修会への参加者も加わった結果であると考えられる。また、「4技能のバランスのとれた児童・生徒の育成～小・中・高 学びの一体化を目指して～」というテーマの、小・中・高・特の校種に関係なく受講できる希望研修「英語教育セミナーin徳島2018」には、年末土曜日の午後の開催であるにもかかわらず、中学校英語担当教員の希望者が多かった。これは、新学習指導要領で求められる「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」を中心とした4技能の育成についての情報を得たいという願いを反映しているとともに、スピーキング指導における小・中・高の連携への関心の高さを示している。小学校や高等学校の研修協力校における公開研修や公開授業に参加する等、積極的に校種間連携に取り組む教員の姿が見られた。

今後はさらに、小・中・高の学びの一体化を目指した研修の機会を確保していく。

2022年度までの目標管理を次に示す。

	2018		2019		2020		2021		2022	
	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
研修実施回数	10	24	10		10		10		10	
研修受講者数	250	408	250		250		250		250	

値	2018	2019		2020		2021		2020	
	現状	目標	達成	目標	達成	目標	達成	目標	達成
求められる英語力を有する英語担当教員	50%	65%		70%		75%		80%	
求められる英語力を有する生徒	52%	55%		60%		62%		65%	
学習到達目標の設定	100%	100%		100%		100%		100%	
学習到達目標の公表	21%	100%		100%		100%		100%	
学習到達目標の達成状況の把握	45%	100%		100%		100%		100%	
生徒の授業における英語による言語活動時間	79%	100%		100%		100%		100%	
パフォーマンステストの実施状況 (S)	4%	5%		5%		6%		6%	
パフォーマンステストの実施状況 (W)	2%	5%		5%		6%		6%	
英語担当教員の授業における英語使用状況	99%	100%		100%		100%		100%	

求められる英語力を有する教員の割合は、2017年度英語教育実施状況調査において全国2位という結果であり、目標値に達している。そこで2019年度の目標値をさらに高く設定した。また、求められる英語力を有する生徒の割合は2018年度に設定した目標値を超える結果となった。教員の授業改善が生徒の英語の使用率を高め、英語力の向上につながったのではないかと考える。引き続き、2019年度実施予定の「指導力のブラッシュアップ！中高英語発信力育成研修」で、中学校英語科教員の英語力向上、ひいては生徒の英語力向上に繋げていく。

学習到達目標の設定については、早い段階（2014年度）で設定率100%を達成している。しかし、公表及び達成状況の把握について、昨年度の結果を下回る結果となった。今年度は、2年間で全小中学校から1名が参加する悉皆研修、「つながろう！小中ALTコラボレーション研修」を実施し、各中学校で見直しを図ったCAN-DOリストを持ち寄り、中学校区内の小学校と共有を図る。また、協働でCAN-DOリストを作成する、学習達成目標の活用に向けた研修を行い、目標値の向上を図る。

授業における生徒の英語による言語活動の割合については、研修等を通して、言語活動の重要性を広く県内の教員に周知したり、英語教育推進リーダーより伝達講習を受けた中核教員が、その有用性を認識し、校内や地域内での研修において学びを伝達したりした結果、数値は向上している。2019年度はさらに言語活動の充実を図るための、「つながろう！小中ALTコラボレーション研修」を実施し、目標値を目指していく。

英語担当教員の授業における英語使用状況については、ほぼ目標値まで飛躍している。これは、新学習指導要領で教員に求められる力や、言語活動の重要性を研修で認識し、意識的に英語担当教員が取り組んだ結果と考えられる。

2019年度も、新学習指導要領の実現に向けた手厚い研修を行い、中学校英語担当教員の授業力、英語力向上を目指していく。また、4技能をバランスよく総合的に育成するための授業改善及び評価方法の見直しと工夫についても、引き続き啓発する。

#### 〈高等学校における目標管理〉

2018年度は様々な形態の研修を設定することができ、研修回数は2018年度の目標値を大きく上回り、受講者数も目標値を上回った。これは、中学校同様、2014～2016年度の英語担当教員悉皆研修であった「小中高英語パワーアップ講座」が終了し、2017年度より2カ年実施の「英語中核教員研修A」の受講者は、各校の代表（中核教員）に絞ったことから、研修受講者数の目標値を250人と変更したことによる。土曜日実施の研修受講者に関しては、部活動の大会の引率や指導に携わる若手教員の増加等も影響し、あまり増加はしていない。しかし、距離は離れていても研修協力校の小学校や中学校の公開研修や公開授業に参加したりするなど、積極的に校種間連携に取り組む教員が中学校同様増えてきている。今後も、希望研修の時期を部活動の大きな大会と重ならないようにする等、研修の機会を確保していく。

2022年度までの目標管理を次に示す。

	2018		2019		2020		2021		2022	
	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
研修実施回数	10	19	10		10		10		10	
研修受講者数	250	299	250		250		250		250	

値	2018	2019		2020		2021		2022	
	現状	目標	達成	目標	達成	目標	達成	目標	達成
求められる英語力を有する英語担当教員	86%	90%		95%		97%		100%	
求められる英語力を有する生徒	45%	55%		60%		62%		65%	
学習到達目標の設定	100%	100%		100%		100%		100%	
学習到達目標の公表	49%	100%		100%		100%		100%	
学習到達目標の達成状況の把握	63%	100%		100%		100%		100%	
生徒の授業における英語による言語活動時間	55%	100%		100%		100%		100%	
英語担当教員の授業における英語使用状況	54%	100%		100%		100%		100%	

	2018	2019		2020		2021		2022	
	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
パフォーマンステストの実施状況 (S) コミュ I	2.2	3.5		4		4.5		/	/
新課程 (S) 英語コミュ I	/	/	/	/	/	/	/	5	
パフォーマンステストの実施状況 (S) コミュ II	2	3.5		4		4.5		5	
パフォーマンステストの実施状況 (S) コミュ III	1	1.5		2		2.3		2.5	
パフォーマンステストの実施状況 (S) 英表 I	0.8	1.5		2		2.3		/	/
新課程 (S) 論理・表現 I	/	/	/	/	/	/	/	2.5	
パフォーマンステストの実施状況 (S) 英表 II	0.4	1.5		2		2.3		2.5	
パフォーマンステストの実施状況 (W) コミュ I	1.1	1.5		2		2.3		/	/
新課程 (W) 英語コミュ I	/	/	/	/	/	/	/	2.5	
パフォーマンステストの実施状況 (W) コミュ II	1.2	1.5		2		2.3		2.5	
パフォーマンステストの実施状況 (W) コミュ III	1	1.5		2		2.3		2.5	
パフォーマンステストの実施状況 (W) 英表 I	1.6	2		2.3		2.5		/	/
新課程 (W) 論理・表現 I	/	/	/	/	/	/	/	3	
パフォーマンステストの実施状況 (W) 英表 II	1.6	2		2.3		2.5		3	

求められる英語力を有する教員の割合は、2017年度に続き2018年度も目標値を超えた。今後も100%を目指し、残る14%の資格取得を強力にサポートする。求められる英語力を有する生徒の割合は、目標値には届かなかったものの年々増加しており、今後の伸びが期待される。授業における生徒の英語による言語活動の割合については、特にコミュニケーション英語 I において、「おおむね」「半分以上」に該当する英語担当教員の割合は66%に伸びており、5年前と比較するとほぼ1.7倍に増加している。授業改善等に取り組んだ研修の成果が現れている。また、パフォーマンステストの実施については、特にライティングに関して目標値を上回る良い結果となっている。英語教員が指導方法だけでなく評価方法に関しても意欲的に取り組んでおり、新たな方法を取り入れるなど教員の意識が改善されていることがわかる。学習到達目標の整備については、設定している学校の割合は2016年度より100%であり、公表している学校の割合は増えてはいるがほぼ半数である。学習到達目標の達成状況の把握についてはこれまでより増えており、「CAN-DO リスト」等の見直しに取り組む学校が徐々に増えてきていることがわかる。

こうした状況を踏まえ、国の求める生徒の発信力の強化に向け、さらに4技能を統合させた活動であるディベートなどの演習を取り入れた新しい指導方法及び評価方法について、新たな研修を計画するなど、2019年度以降も英語教員対象の特別研修や希望研修等を通じて英語担当教員の

授業力・英語力のさらなる向上を図れるよう、授業改善のためのより一層の啓発や充実した研修を行う。

〈目標達成に向けての取組〉

徳島県教育委員会では、本県の教育理念の一つでもある「世界に羽ばたくグローバル人材」の育成を目指し、児童生徒の英語力を高めることをねらいとし、英語教育改善のための施策を実施してきた。

2019年度は、「とくしま英語教育イノベーション研修」の一つとして、中・高等学校英語担当教員の指導力向上を目指した「指導力のブラッシュアップ！中高英語発信力育成研修」、また、小学校教員・中学校英語担当教員の言語活動の充実を図るための授業改善を目指した「つながろう！小中ALTコラボレーション研修」を実施する。

また、外国語指導助手の指導力等向上研修に中・高それぞれ約40名（全英語担当教員の約20%）ずつの英語担当教員が参加し、外国語指導助手とのペアやグループで効果的なティーム・ティーチングの在り方について協議したり、授業づくりのポイントについて意見交換したりすることを通して英語力の向上を図る。

さらに、2019年度も「英語教育セミナーin徳島」を継続して実施を予定している他、教育課程研究集会における研修及び研修協力校における公開授業・公開研修並びに希望研修である「授業改善のための土曜セミナー」等における英語教育推進リーダーによる伝達講習を計画的に実施し、授業改善を図り、指導力向上を目指す。

2019年度からの新しい研修講座実施について計画を進め、研修の質を高めて2020年度に小学校を皮切りにスタートする新学習指導要領全面実施に備える。

なお、教員の英語指導力の変容については、学校訪問時の研究授業において、引き続き次の5つの観点から総合的に判断することとする。

- ①原則として授業が英語で進められている。
- ②教師の発話より生徒同士の発話量や活動量（アウトプット）が多い。
- ③4技能を統合的に伸ばす活動を実践している。
- ④自律的な英語学習者を育成するための工夫をしている。
- ⑤同一学年や学校全体で、教員同士が連携して指導改善に取り組んでいる。

(3) 研修の体系と内容の具体

①徳島県教育委員会主催「とくしま英語教育イノベーション研修」の実施

【駆けつけます！出前！小英ヘルプデスク】

○研修対象者

小学校英語教育に携わる教員等

○研修目的・内容

小学校英語教育を発展・充実させる上での課題や小学校英語教育に携わる教員の不安要素の解消を目指し、県内すべての地域で、教員と指導主事が相談の上、よりよい小学校英語教育を推進していくための研修を実施し、児童のコミュニケーション能力の育成を目指す。出前訪問研修の形をとる。研修内容は、担当教員と指導主事が相談しながら決めていき、地域や学校の課題に応じた、カスタムメイドな研修を一緒に作っていく。

○受講予定者数

約300名（2018年度実績：702名）

○研修の評価方法

研修アンケートによる態度面の評価と、研修中の発話等での能力面の評価とする。

【やってみよう！発音トレーニング&授業改善】

○研修対象者

小学校教諭及び小学校英語教育に携わる教諭等

○研修目的・内容

外部専門機関等や英語教育推進リーダーと連携し、小学校教員の授業改善と指導力・英語力の向上を図る。県下でサテライト研修を実施する。

〈講座A〉「Pronunciation improvement! とくしま発音クリニック」  
「みんなが楽しい! Songs & Picture books」

〈講座B〉「Let's try! Small Talk & Role-play」  
「新教材を活用しよう! We Can! 2\_Let's talk」  
「Reading & Writing teaching workshop\_Alphabet」

〈講座C〉「Reading & Writing teaching workshop\_Knowledge」  
「Reading & Writing teaching workshop\_Sounds of letters」  
「新教材を活用しよう! We Can! 2\_Unit 5」  
「やってみよう! 校内研修」

○受講予定者数

約 360 名 (A～C 各講座を各 3 日ずつ開催, 定員 40 名)

○研修の評価方法

研修アンケートによる態度面の評価と, 研修中の発話等での能力面の評価とする。

#### 【すべての子どもを支援する 小中英語教育ユニバーサル化講座】

○研修対象者

小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭等

○研修目的・内容

外部専門機関等と連携し, インクルーシブ教育の視点から, 英語学習に困難を感じている子供や支援が必要な子供へアプローチする指導法を身に付ける。サテライト研修を実施する。

○受講予定者数

約 30 名 (2 日間)

○研修の評価方法

研修アンケートによる態度面の評価と, 研修中の発話等での能力面の評価とする。

#### 【つながろう! 小中ALTコラボレーション研修】

○研修対象者

小学校教員・中学校英語科教員・ALT

○研修目的・内容

小学校教員, 中学校英語科教員及びALTの一層の連携を図り, 授業改善と指導力・英語力の向上を目指す。外部専門機関等と連携し, 研修の質を深める。

〈講義・演習〉「CAN-DO リストについて」

〈班別研修〉「小中連携による系統的な指導方法の習得」

○受講予定者数

小学校 約 160 名, 中学校 約 80 名, ALT 約 160 名 (2 年間)

○研修の評価方法

研修アンケートによる態度面の評価と, 研修中の発話等での能力面の評価とする。

#### 【指導力のブラッシュアップ! 中高英語発信力育成研修】

○研修対象者

中学校教員・高等学校教員・特別支援学校教員等

○研修目的・内容

中学校及び高等学校英語科教員の連携を図り, 新学習指導要領に対応した指導方法や評価方法の改善を図る。

○受講予定者数

中学校 約 80 名, 高等学校・特別支援学校 約 80 名 (2 年間)

○研修の評価方法

研修アンケートによる態度面の評価と、研修中の発話等での能力面の評価とする。

- ・大学教授等を講師として招き、講義・協議・演習を実施する。その講師の中には、研修協力校研修における研究授業及び授業研究会並びに研修会でも指導・助言にあたる教授等を含み、研修協力校研修の成果を域内研修において普及するとともに、課題の共有を図ることとする。
- ・文部科学省教科調査官等を招き、外国語教育に関する最新情報提供の場とする。

## ②研修協力校研修の充実

- 2018年度までに、県央、県南・県北で実施してきた研修協力校を、2019年度は県西部三好市の中心校である池田小、池田中、池田高に設置する。三好市ではラフティング等の世界大会が開催される等、グローバル化のムーブメントが起こっている好機であり、コミュニケーションの目的・場面・状況等が設定しやすく、生きた言語活動の充実を図りたい。
- 新しい英語教育における小学校から高等学校までの系統性についての研究を進めるとともに、域内だけでなく県内全域にその成果が伝わるように、県内の小・中・高校教員全体を対象に継続的に公開研修会及び公開研究授業を開く。大学教授等からの指導・助言の機会を設けるとともに校種間連携に取り組む。各校では4技能を総合的に伸ばすために言語活動を充実させた授業の在り方を探り、授業改善を図る。また、地域との連携を中心とした授業改善及び地域活性化のよりよいモデル作りに取り組み、広く県内全域へ成果の普及を図る。
- 公開授業（3校、各1回実施）  
研修対象者：県内教員に広く呼びかける。
- 公開研修（3校、各1回以上実施）  
研修対象者：県内教員に広く呼びかける。
- 研修成果の普及について
  - ・研修を重ねて授業改善に取り組み、その成果を県内全体に公開授業の形で普及する。

## ③外部専門機関と連携した研修の実施

- ベネッセと連携して講師を招き、「英語教育セミナーin 徳島 2019」を実施する。
- 研修対象者：小学校教員及び中学校・高等学校英語担当教員
  - ・希望者を募る（50名程度）。
- セミナー概要
  - ・休日（土曜日）の午後に開催する。
  - ・小・中・高等学校教員が一緒に受講し、4技能の評価の仕方について研修する。
- 講師
  - ・ベネッセ講師

## ④外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修の実施（大学との連携の継続）

- 県内外の大学教授等を招いたり、現地研修を行ったりして、外国語指導助手としての心構えや実践に役立つノウハウを提供し、実践に生かす。
- 研修対象者
  - ・JETプログラムで県内に配置されている全ALT 95名（予定）を対象とする。
  - ・中学校・高等学校の日本人の英語担当教員（JTE）80名程度が3日間参加する。
- 研修概要
  - ・4日間の研修とし、うち1日間は高等学校で現地研修を行う。また、残り3日間は講義やワークショップを実施し、そのうち1日間はJTEとの合同研修とする。
  - ・大学教授等を講師として招き、講義・演習を実施する。
  - ・研修で作成した授業案をもとに国際英語科のある高等学校で授業を実施し、スキルの向上を図る。
  - ・複数年の勤務経験があるALTの実践発表を行い、JTEとのチーム・ティーチングのノウハウを共有する。



<ul style="list-style-type: none"> <li>・JTE とのディスカッションの時間を設定し、ティーム・ティーチング上の問題解決を図ると共に、JTE の英語力向上の場とする。</li> <li>○講師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・順天堂大学教授</li> </ul> </li> <li>○評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでの評価とする。</li> </ul> </li> </ul>
---

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	研修協力校（小・中・高）との連絡会（研修計画作成）	
5月	研修協力校（小・中・高）との連絡会（研修計画作成）	
6月	研修協力校（小）における研修会 研修協力校（中）における研修会 研修協力校（高）における研修会	大学（未定） 大学（未定） 大学（未定）
7月	研修講座 A 第1回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 第2回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 第3回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 ・小学校教諭等対象（英語教育推進リーダー研修実習伝達講習を兼ねる） 研修講座 「指導力のブラッシュアップ！中高英語発信力育成研修」 ・中・高等学校教員対象	四国大学 （英語教育推進リーダー） 琉球大学 （英語教育推進リーダー）  四国大学 立教大学
8月	研修講座 「すべての子どもを支援する小中英語教育ユニバーサル化講座」 ・小・中・特別支援学校教諭等対象 研修講座 B 第1回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 第2回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 第3回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 ・小学校教諭等対象（英語教育推進リーダー研修実習伝達講習を兼ねる） 研修講座 C 第1回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 第2回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 第3回「やってみよう！発音トレーニング&授業改善」 ・小学校教諭等対象（英語教育推進リーダー研修実習伝達講習を兼ねる） 研修協力校（小）における公開研修会 研修協力校（中）における公開研修会 研修協力校（高）における公開研修会 教育課程研究集会（高） 教育課程研究集会（小） 教育課程研究集会（中）	島根大学  （英語教育推進リーダー）   （英語教育推進リーダー）  大学（未定） 大学（未定） 大学（未定）

9月	外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修 研修講座 「つながろう！小中ALTコラボレーション研修」 ・小・中学校教員対象（外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修と一部兼ねる）	鳴門教育大学 四国大学 琉球大学
10月	外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修 研修講座 「つながろう！小中ALTコラボレーション研修」 ・小・中学校教員対象（外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修と一部兼ねる） 外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修 ・高等学校での現地研修	徳島大学 文部科学省教科調査官 四国大学
11月	研修協力校（小）における公開研究授業及び研修会 研修協力校（中）における公開研究授業及び研修会 研修協力校（高）における公開研究授業及び研修会	大学（未定） 大学（未定） 大学（未定）
12月	英語教育セミナーin 徳島 2019 研修講座 「指導力のブラッシュアップ！中高英語発信力育成研修」 ・中・高等学校教員対象 研修講座 「すべての子どもを支援する小中英語教育ユニバーサル化講座」 ・小・中・特別支援学校教諭等対象	岐阜大学 順天堂大学 島根大学
1月	外国語指導助手（ALT）の指導力等向上研修	順天堂大学
2月		
3月	研修協力校（小・中・高）との連絡会（取組の検証と修正） 報告書作成	
<b>【その他の取組】</b> ・カリキュラム・カフェ（授業改善のための土曜セミナー）（英語教育推進リーダー）		

